

本審査基準は重要な形質を定める最新の告示を反映しておりません。

出願等にあたっては、最新の重要な形質をご確認ください。(以下 HP の植物区分ごとの特性表参照。

→https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hinshu/info/sinsa_kijun_jp.html)

なお、それぞれの重要な形質に対する定義等は変更されております。

こえびそう審査基準

1 基準の対象

この審査基準は、キツネノマゴ科(Acanthaceae)ジャスティキア属(Justicia)のジャスティキア ブランデージアナ種(J.brandegeana)を調査対象とする。

しかし、これ以外の出願があった場合は、本基準適用の可否について前もって検討する必要がある。

2 特性検定のための栽培試験方法

(1) 耕種概要

作型：施設無加温鉢栽培

挿し木：4月上旬 天挿し

定植：5月中旬 鉢の大きさ 3号

用土 赤玉(小～中粒) 5：腐葉土 3：川砂 2

花摘み：挿し木後、主茎に発生した花穂については、花が3花程度開花したら花穂ごと摘み取る。

整枝：花摘み後に発生する一次分枝については放任とする。

施肥：追肥 月2～3回程度の薄目の液肥

置き肥 定植後、少量の緩行性肥料

遮光：夏季の高温時の遮光

(2) 供試個体数 30個体

(3) 調査時期 秋調査

花摘み後、伸長した最長の一次分枝の花穂に2～3花目の花が咲いた時。

(4) その他 生育調整剤等の処理は行わない。

(5) 提出種苗形態 5月上中旬

天挿し無摘心のセル苗

生育調整剤等の影響及び処理の行われていないもの。

3 特性審査基準

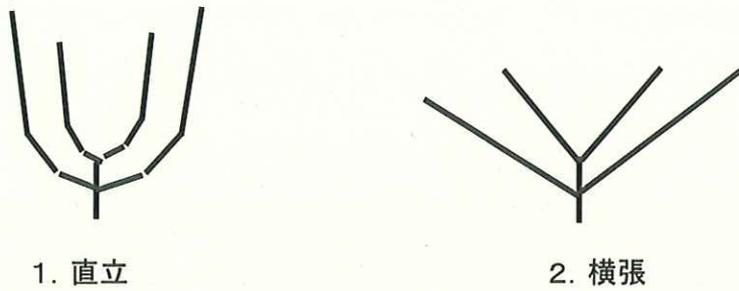
(1) 特性審査基準(案)

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
樹姿	1	草姿	植物全体の草姿	観察 図1	直立 横張	1 2		
	2	株幅	株の最大幅	測定 cm	狭 中 広	3 5 7	グッタタ	
樹高	3	草丈	地際から植物体最頂部までの高さ	測定 cm	低 中 高	3 5 7	グッタタ	
枝の形状	4	茎の毛の多少	開花枝中央部の茎の毛の多少	観察	粗 中 密	3 5 7	グッタタ	
	5	節部のアントシアニンの有無	開花枝の節部のアントシアニンの有無	観察	無 有	1 9	イエロークィーン グッタタ	
	6	開花枝の長さ	開花枝基部から花穂先端までの長さ (伸ばした状態で測定)	測定 cm	短 中 長	3 5 7	グッタタ	
葉の形状	7	葉形	株における開花枝上部の葉形	観察 図2	披針形 線状楕円形 狭卵形 楕円形 卵形	1 2 3 4 5		
	8	葉長	開花枝の最大葉の長 (押し広げた状態で測定)	測定 cm 図3	短 中 長	3 5 7	グッタタ	
	9	葉幅	開花枝の最大葉の幅 (押し広げた状態で測定)	測定 cm 図3	狭 中 広	3 5 7	グッタタ	
	10	葉の表面の色	開花枝中央部の葉の緑の色		淡緑 緑 濃緑	1 2 3	グッタタ	
	11	葉の斑の有無	開花枝中央部の葉の斑の有無	観察	無 有	1 9	グッタタ	
	12	葉の斑模様	斑のタイプ	観察 図4	散り斑 掃け込み 外斑 中斑	1 2 3 4		
	13	葉の斑色	斑の色		RHSカラーチャートの色票番号による			
	14	葉のアントシアニンの着色の有無	葉のアントシアニンの着色の有無	観察	無 有	1 9	グッタタ	
花の形状	15	花穂の曲がりの程度	典型的な花穂の曲がりの程度	観察 図5	無又は極弱 弱 中 強 極強	1 3 5 7 9	グッタタ	

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考	
花の形状	16	花穂の数	最長開花枝の花穂の数	測定	少 中 多	3 5 7	グッタタ		
	17	花穂の長さ	花穂を伸ばした長さ	測定 cm 図6	短 中 長	3 5 7	グッタタ		
	18	花穂の太さ	花穂中央部の苞のみの太さ	測定 cm 図6	細 太 長	3 5 7	グッタタ		
	19	花穂の苞の重なり の程度	花穂の苞の重なり の程度	観察 図7	弱 中 強	3 5 7	グッタタ		
	20	花穂の苞の開き の程度	花穂の苞の開き の程度	観察 図8	狭 中 広	1 2 3	グッタタ		
	21	苞全体の形	典型的な苞の形	観察 図9	披針形 長楕円形披針形 卵形 心臓形	1 2 3 4	グッタタ		
	22	苞の横断面の形	花穂中間部より下側の苞 の中央部の横断面の形	観察 図10	I型 II型 III型	1 2 3	グッタタ		
	23	苞の長さ	花穂中央部の苞の長さ	測定 cm 図11	短 中 長	3 5 7	グッタタ		
	24	苞の幅	花穂中央部の苞の幅さ	測定 cm 図11	狭 中 広	3 5 7	グッタタ		
	25	苞の色変化の有無	若い苞と下部の苞の色 の変化の有無	観察	無 有	1 9	イエロークイーン グッタタ		
	26	若い苞の外側の色	若い苞一枚の外側の色 (色変化するもののみ)	RHSカラーチャート の色票番号による					
	27	苞の外側の複色の有 無	苞一枚の外側の複色の 有無	観察	無 有	1 9	グッタタ		
	28	苞の外側の主な色	苞一枚の外側の主な色	RHSカラーチャート の色票番号による					
	29	苞の外側の複色	苞一枚の外側の複色	RHSカラーチャート の色票番号による					
30	苞の複色の着色部位	複色の着色している場所	観察	先端部 基部 中肋 縁部	1 2 3 4				
31	唇弁の開きの程度	上唇弁と下唇弁の開きの 程度	観察 図12	狭 中 広	3 5 7	グッタタ			

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考	
花の形状	32	花冠の縦経	花冠の縦経	測定 cm 図13	小 中 大	3 5 7	グッタタ		
	33	花冠の長さ	花冠の長さ	測定 cm 図13	短 中 長	3 5 7	グッタタ		
	34	上唇弁内面の複色の有無	上唇弁内面の複色の有無	観察	無 有	1 9	グッタタ		
	35	上唇弁内面の主な色	上唇弁内面の主な色	RHSカラーチャートの色票番号による					
	36	上唇弁内面の複色	上唇弁内面の複色	RHSカラーチャートの色票番号による					
	37	下唇弁の形	下唇弁の形	観察 図14	I型 II型 III型 IV型	1 2 3 4			
	38	下唇弁の長さ	伸ばした状態での下唇弁の長さ	測定 mm 図13	短 中 長	3 5 7	グッタタ		
	39	下唇弁の幅	自然状態での下唇弁の	測定 mm 図13	狭 中 広	3 5 7	グッタタ		
	40	下唇弁内面の複色の有無	下唇弁内面の複色の有無	観察	無 有	1 9	イエロークィーン グッタタ		
	41	下唇弁の複色模様	下唇弁内面の複色模様 (参考図の枠内の模様について観察する)	観察 図15	I型 II型 III型 IV型	1 2 3 4			
	42	下唇弁内面の主な色	下唇弁内面の主な色	RHSカラーチャートの色票番号による					
	43	下唇弁内面の複色	下唇弁内面の複色	RHSカラーチャートの色票番号による					
	44	葯の色	開葯前の葯の色	観察	白 黄 紅 赤紫 褐 紫褐	1 2 3 4 5 6	イエロークィーン グッタタ		
	45	花糸の色	開葯前の花糸の色	観察	白 黄 紅 赤紫	1 2 3 4	グッタタ		
早晩性	46	開花の早晩	50%の株が開花した時	観察	早 中 晩	3 5 7			

(2)特性審査基準(案)参考図



1. 直立

2. 横張

図 1 草姿(形質 1)



1. 披針形

2. 線状橢圓形

3. 狭卵形

4. 橢圓形

5. 卵形

図 2 葉形(形質 7)

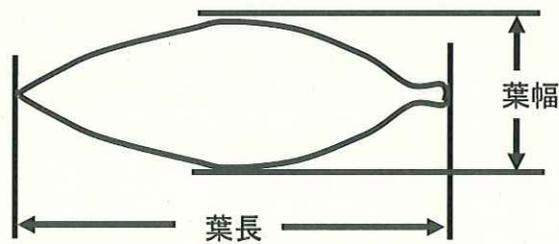


図 3 葉長・葉幅(形質 8・9)



1. 散り斑

2. 掃け込み

3. 外斑

4. 中斑

図 4 葉の斑模様(形質 12)



図 5 花穂の曲がりの程度(形質 15)

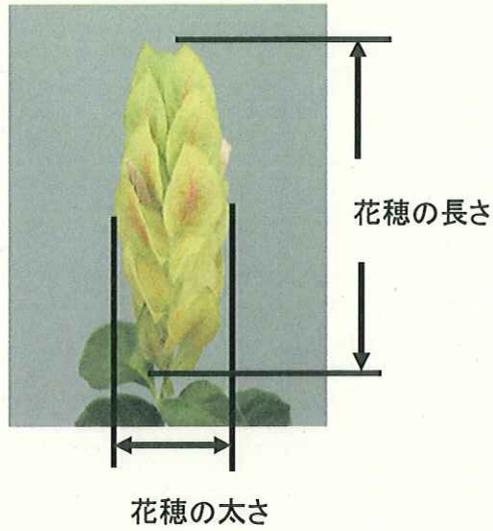


図 6 花穂の長さ・太さ(形質 17・18)

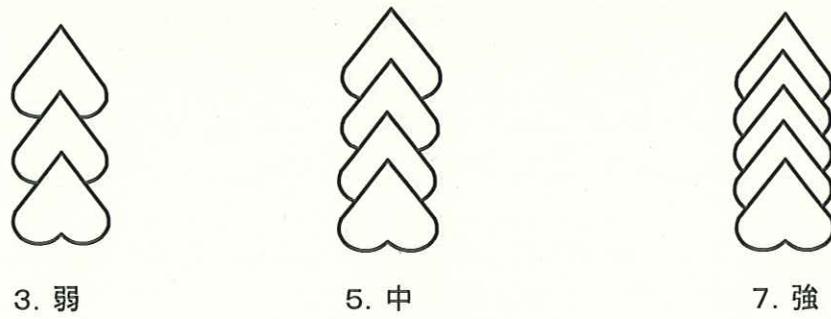


図 7 苞の重なり(程度)(形質 19)

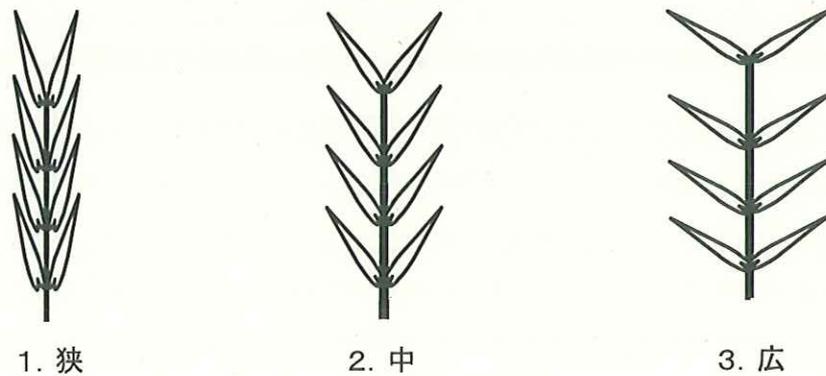


図 8 苞の開きの程度(形質 20)

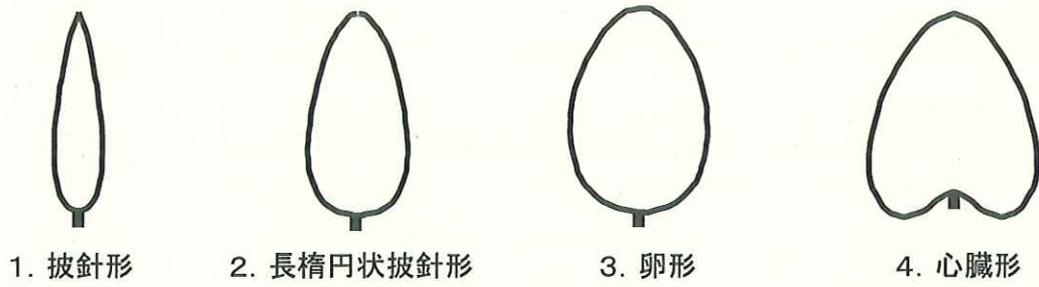


図 9 苞全体の形(形質 21)



図 10 苞の横断面の形(形質 22)

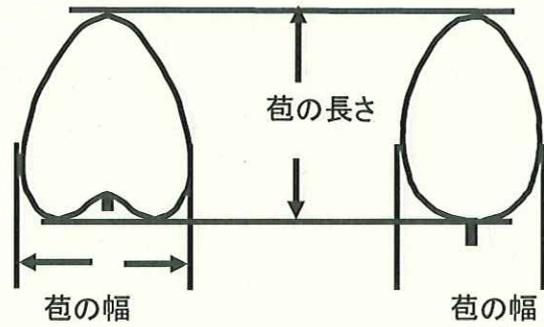


図 11 苞の長さ・幅(形質 23・24)

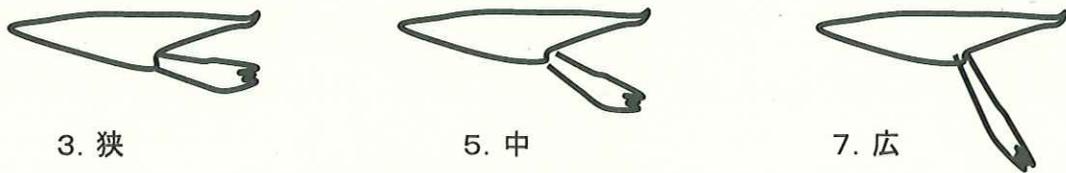


図 12 唇弁の開きの程度(形質 31)

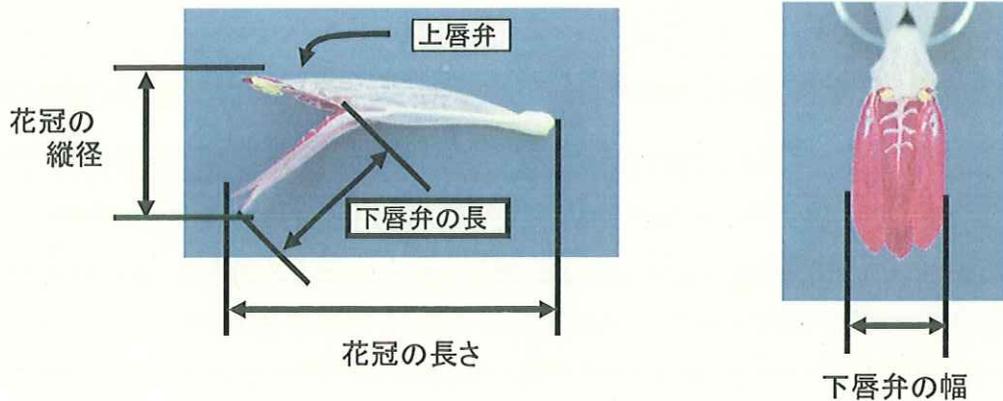


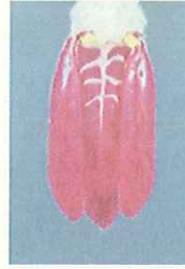
図 13 花冠の縦径・長さ、下唇弁の長さ・幅(形質 32・33・38・39)



1. I 型



2. II 型



3. III 型



4. IV 型

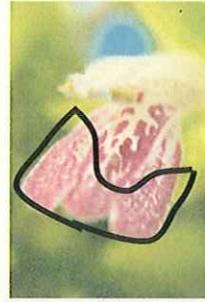
図 14 下唇弁の形(形質 37)



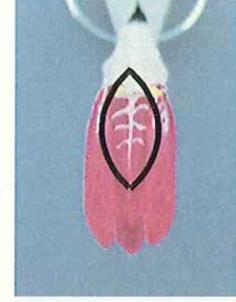
1. I 型



2. II 型



3. III 型



4. IV 型

図 15 下唇弁の複色模様(形質 41)